

第二版

平成29年度

トータルプラン作成支援事業

～ 商店街の手引き ～

平成29年7月

(株)全国商店街支援センター

目 次

| | |
|------------------------------------|----|
| 1. 事業の目的 | 3 |
| 2. 事業の概要 | 3 |
| 3. 応募について | 9 |
| 4. 派遣事務について | 9 |
| 支援パートナー・実践サポーター等派遣申込みの際の注意事項 | 15 |
| 支援パートナーの派遣を受ける皆さまへ..... | 16 |

〈本件に関するお問い合わせ、申請書類送付先〉

株式会社 全国商店街支援センター トータルプラン作成支援事業担当
住 所： 〒104-0043
東京都中央区湊1-6-11 ACN八丁堀ビル4階

電 話 : 03-6228-3061
メールアドレス: total@syoutengai-shien.com

※ 本手引きは(株)全国商店街支援センターのホームページに掲載しています。

<http://www.syoutengai-shien.com/>

1. 事業の目的

全国の商店街では、商店街の活性化に向けて、これまで様々な取り組みがなされてきましたが、組合員（会員）の減少や設備の老朽化といった問題の前には、商店街のもつ限られた資源（人材や資金等）を効率良く活用することが大変重要です。

本事業では、商店街を取り巻く状況を分析した上で、特定の商店街事業にとらわれず、既存事業（体系）の見直しを図る、または新規事業の構築を図ることを支援することで、実行に向けた後押しを行うことを目的とします。

2. 事業の概要

支援センターと密接に連携した幅広い知識をもった専門家（以下、「支援パートナー」という。）を派遣し、支援センターの作成したテキストに沿ってビジョン^{※1}・プラン^{※2}の完成を目指します。

本事業では、「入門コース」と「実践コース（A）」、「実践コース（B）」の3つのコースで商店街の状況に応じたプランづくりまでの支援を行います。

新設の「入門コース」において、支援パートナーによるワークショップを体験することにより、ビジョン・プランづくりの進め方について学びます。

「入門コース」と「実践コース（A）」において、オプション^{※3}として、商店街活性化の実践者（以下、「実践サポーター^{※4}」という。）による体験談を踏まえた講演にて商店街活性化に向けた考え方を学びます。

※1「ビジョン」とは、商店街の「現状」や「ありたい姿」を基に考えた「目指すべき方向性」を指します。

※2「プラン」とは、「目指すべき方向性」等を基に考えた問題解決の具体策を指します。

※3 商店街が実践サポーターによる講演を希望し、かつ支援センターが必要と判断した場合に、オプションとして講演を実施します。講演では、実践サポーターの体験談を踏まえ、商店街活性化に向けた考え方を学ぶことができます。

※4「実践サポーター」とは、これまでに支援センター事業を受講し、商店街活性化の取り組みを継続実施している方等を指します。

○各コースの対象

| | |
|----------|--|
| 入門コース | 商店街活性化に向けた話し合いの方法について、ワークショップを通して学びたい商店街向け（実践サポーターの実例 [※] も聞くことができます） |
| 実践コース（A） | 商店街活性化に向けて、商店街の現状把握、「目指すべき方向性」の検討から問題解決の具体策までトータルに検討したい商店街向け |
| 実践コース（B） | 既に商店街の「現状」や「目指すべき方向性」が明確となっており、具体的な取り組みについて検討したい商店街向け |

※「入門コース」「実践コース（A）」が講演オプション対象コースとなります

○支援イメージ

《入門コース》

| 入門研修 2時間（1日のみ） | |
|--------------------------------------|----------------------------------|
| 実践サポーター講演 | ワークショップ体験研修 |
| 実践サポーター等※による商店街活性化に向けた体験談（1時間）※オプション | 「自身の商店街の強みは？」というテーマでのグループ討議（1時間） |

※支援パートナーが実施することがあります。

《実践コース（A）》

| 実践研修（A） 2時間／回 | |
|--|--|
| ビジョン作成研修（3回） | プラン作成研修（3回） |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 商店街の現状確認 ・ 課題等の列挙 ・ ありたい姿の言語化 ・ 実践サポーター講演 ※オプション ・ 課題の選定 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 選択した課題を基にした現状分析 ・ 課題解決策の列挙 ・ 事業コンセプト構築 ・ 取組みの優先順位づけ ・ 取組みの分類 |

《実践コース（B）》

| 実践研修（B） 2時間／回 | |
|---|--|
| ビジョン共有（振り返り）（1回） | プラン作成研修（3回） |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 商店街の現状確認 ・ 課題の確認 ・ ありたい姿の確認 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 選択した課題を基にした現状分析 ・ 課題解決策の列挙 ・ 事業コンセプト構築 ・ 取組みの優先順位づけ ・ 取組みの分類 |

○派遣イメージ

《入門コース》

**入門研修
1回目**

《実践コース（A）》

| ビジョン 1回目 | ビジョン 2回目 | ビジョン 3回目 | プラン 1回目 | プラン 2回目 | プラン 3回目 |
|-------------|-------------|-------------|------------|------------|------------|
| | | | | | |

《実践コース（B）》

| ※振り返り 1回目 | プラン 1回目 | プラン 2回目 | プラン 3回目 |
|--------------|------------|------------|------------|
| | | | |

※「ビジョン共有」（振り返り）はオプションです。支援センターが必要と認める場合に実施することができます。「ビジョン共有」では、支援パートナーの進行のもと、商店街の現状や課題等を参加者全員で共有・修正します。ビジョンづくりの過程も振り返ることで、プランの方向性を統一します。

(1) 入門研修

①実践サポーター講演

実践サポーター等^{*}を派遣し、商店街として実際に取り組んでいる活性化に向けた活動について講演します。これからプランづくりを目指すにあたり、参考となる事例について学びます。

※講演のテーマ等の関係で支援パートナーが実施することがあります。

②ワークショップ研修

「自身の商店街の強みは？」というテーマでグループ討議を行います。支援パートナーが中心となって、ワークショップに対する考え方や進め方について学びます。

(2) ビジョン作成研修

商店街の活性化に活用できる（または妨げている）ヒト・モノ・コトを把握するとともに、自分たちが思い描く「ありたい姿」を明確にすることで、現在抱えている課題等を支援パートナー進行のもと整理していきます。支援センターが提供するテキストに沿ってワークショップ形式で参加者が主体的に話し合い作成していきます。

(3) プラン作成研修

ビジョン作成研修で選択した課題の解決に則した現状分析を行うことで、具体的な取組みを検討・抽出します。抽出した取組みは実現可能性の程度（すぐに取り込めるもの、条件つきで取り組めるもの、しばらく取り組めないもの）に合わせて分類し、具体策をまとめていきます。

■研修ガイドライン《入門コース》

| 日程 | | 実施内容・ねらい | 提出物(成果物) |
|------|----|---|--------------------------|
| 入門研修 | 1回 | <p>①実践サポーターの講演から、活性化のイメージが出来ている状態</p> <p>□実践サポーターの辿ったプロセスや考え方について理解していること</p> <p>②グループで議論ができる状態</p> <p>□ワークショップの進め方や流れを共有していること</p> | 「活性化に寄与するもの」が記載されたワークシート |

※その他提出物については「4. 派遣事務について」をご参照ください

■研修ガイドライン《実践コース（A）》

| 日程 | 実施内容・ねらい | 提出物(成果物) |
|----------|--|--|
| ビジョン作成研修 | 1回目 ①本事業の目的・概要を理解している状態 □本事業の目的及び終了後の方向性が共有できていること □本事業の進め方・流れを理解していること ②商店街の現状を共有している状態 □活性化に寄与するものが共有できていること | 「活性化に寄与するもの」が記載されたビジョンチャート |
| | 2回目 ③取組むべき方向性が整理された状態 □多様な視点で課題を列挙できていること ④ありたい姿の言語化が出来ている状態 □目指すべき姿のキャッチフレーズが共有できていること | 1回目のビジョンチャートに「課題・対象者」、「キャッチフレーズ」が付け加えられたもの |
| | 3回目 ⑤実践者の講演を聞いて、ビジョン・プラン作成の過程・活用のイメージができている状態（講演実施はオプション） □講演目的と講演内容を理解し、共有出来ていること ⑥課題が絞り込まれている状態 □複数ある課題から参加者の総意として選択すること | 「課題の選択」が示され完成したビジョンチャート |
| プラン作成研修 | 4回目 ⑦選択した課題を基に現状分析ができている状態 □SWOT分析で整理できていること ⑧課題解決のための取組みが列挙できている状態 □クロスSWOT分析で取組みを抽出できていること | SWOT分析図及びクロスSWOT図、取組みが記載されたプラン |
| | 5回目 ⑨事業コンセプトができている状態 □取組みから活性化の方向性が導き出せていること ⑩取組みを具体的な事業企画シートに落とし込み始めた状態 □既存事業も考慮し、企画シートを作り始めていること | 「事業コンセプト」が記載されたプラン |
| | 6回目 ⑪各事業を優先順位がつけられた状態 □重要性・緊急性等の枠組みで取組みの候補が整理されていること ⑫各取組みが整理された状態 □取組みが実現可能性の視点で分類できていること | 完成したプラン |

※その他提出物については「4. 派遣事務について」をご参照ください

■研修ガイドライン《実践コース（B）》

| 日程 | | 実施内容・ねらい | 提出物(成果物) |
|---------|-----|---|--------------------------------|
| 振り返り | 1回目 | <p>①商店街の現状を共有している状態</p> <p><input type="checkbox"/>商店街の現状(SWOT)について確認ができていること</p> <p>②課題を共有している状態</p> <p><input type="checkbox"/>プランづくりに向けて解決すべき課題を理解していること</p> <p>③ありたい姿を共有している状態</p> <p><input type="checkbox"/>目指すべき姿のキャッチフレーズが共有できていること</p> | 「課題の選択」が示され完成したビジョンチャート |
| プラン作成研修 | 2回目 | <p>③選択した課題を基に現状分析ができている状態</p> <p><input type="checkbox"/>SWOT分析で整理できていること</p> <p>④課題解決のための取組みが列挙できている状態</p> <p><input type="checkbox"/>クロスSWOT分析で取組みを抽出できていること</p> | SWOT分析図及びクロスSWOT図、取組みが記載されたプラン |
| | 3回目 | <p>⑤事業コンセプトができている状態</p> <p><input type="checkbox"/>取組みから活性化の方向性が導き出せていること</p> <p>⑥取組みを具体的な事業企画シートに落とし込み始めた状態</p> <p><input type="checkbox"/>既存事業も考慮し、企画シートを作り始めていること</p> | 「事業コンセプト」が記載されたプラン |
| | 4回目 | <p>⑦各事業を優先順位がつけられた状態</p> <p><input type="checkbox"/>重要性・緊急性等の枠組みで取組みの候補が整理されていること</p> <p>⑧各取組みが整理された状態</p> <p><input type="checkbox"/>取組みが実現可能性の視点で分類できていること</p> | 完成したプラン |

※その他提出物については「4. 派遣事務について」をご参照ください

※「振り返り」はオプションです。支援センターが必要と認める場合に実施することができます

3. 応募について

「公募要領」を参照の上、必ず期間内に所定の応募書類等をご用意いただき、郵送でお申し込みください。

4. 派遣事務について

以下の手続き・提出について、可能な限りメール添付にてお申し込み・ご提出下さい。インターネット環境がない場合はFAX・郵送等でも可能です。

(1) 派遣の実施について

事業決定通知を受けた商店街は、支援パートナーと日程調整し、「派遣申込書」(様式第4)を支援センターへ提出して、派遣申込み手続きを行ってください。なお、原則として派遣予定日の7日前(講演実施の場合は講演実施日の2週間前)までに、支援センターにお申し込みください。

※2回目以降の研修において、派遣申込書を送付した場合でも、自動的に派遣承諾にはなりません。各回の商店街・支援パートナーからの報告書・提出物を支援センターが確認後、派遣を承認しますので、ご注意下さい。

<実践サポーター講演を希望する場合の手続きについて>

実践コースAにおいて、商店街からの支援申請書受理後に、実践サポーターの講演実施の有無及び講演内容の希望確認を行います。派遣1回目終了後、商店街の活性化の方向性が確認できた段階で、講演の必要性がある場合、支援センターが商店街および支援パートナーと協議の上、実践サポーターおよび講演実施日程の調整を行います。

派遣3回目の派遣申込みの前までに支援センターから決定した実践サポーターおよび講演実施日程を商店街に連絡します。その後、講演実施日の2週間前までに商店街から「派遣申込書」(様式第4-実A)を提出してください。

(2) 研修日の変更について

研修実施日を変更する場合には、支援センターに事前に連絡の上、変更申込を行ってください。(様式第4-実A)

(3) 事業運営について

会場及び備品等の手配・準備をお願いいたします(パソコン・スクリーン・プロジェクター等)。事業決定後に研修実施に向けた「準備物チェックリスト」を送付しますので、チェックリストに沿って研修で使用する付せん、ペン、模造紙等をご準備ください。

(4) 提出物について

研修実施後毎回、すべての書類を7日以内に提出してください。なお、派遣期間は原則として**平成30年2月28日**までとなりますので、提出物は研修実施の7日後あるいは平成30年3月6日のいずれか早い日にちまでに必着で提出してください。

①報告書

研修実施後、毎回、「派遣報告書」(様式第6)を提出してください。

商店街・支援パートナーからの報告書類を確認後、次回以降の派遣を承認します。

②参加者アンケート

- ・実践コース各回用アンケート(様式第7)

実践コースの派遣実施後、毎回提出してください。

- ・実践コース最終回用アンケート(様式第7-2)

実践コース最終回の派遣実施後、提出してください。

- ・入門コース用アンケート(様式第8)

入門コース終了後、提出してください。

③成果物(途中段階も含む)

支援パートナー経由で支援センターに提出してください。(毎回、「研修ガイドライン」に沿った課題を完了したもの)

○ビジョンチャート

所定フォーマットに記載したもの(採択後に送付します。)

3回目にはキャッチフレーズ・選択した課題が明確になっていること

○プラン

所定のフォーマットに記載したもの(採択後に送付します。)

課題解決に向けて抽出された取組みとの間に整合性があること

第三者でも理解できるようなストーリー性があること

○ワークシート等研修で使用した資料

※実践コース(B)初回のビジョン共有(振り返り)終了後は、ビジョンチャートのみご提出ください。ワークシートの提出は必要ありません。

| 【提出物】 | | 入門コース | 実践コース(A) | 実践コース(B) |
|------------------|----------------------|-------|-------------|------------|
| (商店街) 提出物 | 派遣報告書 | ○ | ○ 各回 | ○ 各回 |
| | アンケート (実践コース各回用) | — | ○ 各回 | ○ 各回 |
| | アンケート (実践コース最終回用) | — | ○ 最終回 | ○ 最終回 |
| | アンケート (入門コース用) | ○ | — | — |
| (支援パートナー) 成果物 | ビジョンチャート | — | ○ ビジョンづくり各回 | ○ 振り返り |
| | プランシート | — | ○ プランづくり各回 | ○ プランづくり各回 |
| | ワークシート | ○ | ○ 各回 | ○ プランづくり各回 |

④提出先および問い合わせ先

株式会社全国商店街支援センター トータルプラン作成支援事業担当

Eメール total@syoutengai-shien.com

郵送 〒104-0043 東京都中央区湊 1-6-11 ACN 八丁堀ビル 4階

電話 03-6228-3061 FAX 03-6228-3062

※公募要領等は、下記ホームページからダウンロードすることができます。

支援センターホームページ：<http://www.syoutengai-shien.com/>

(5) 費用負担について

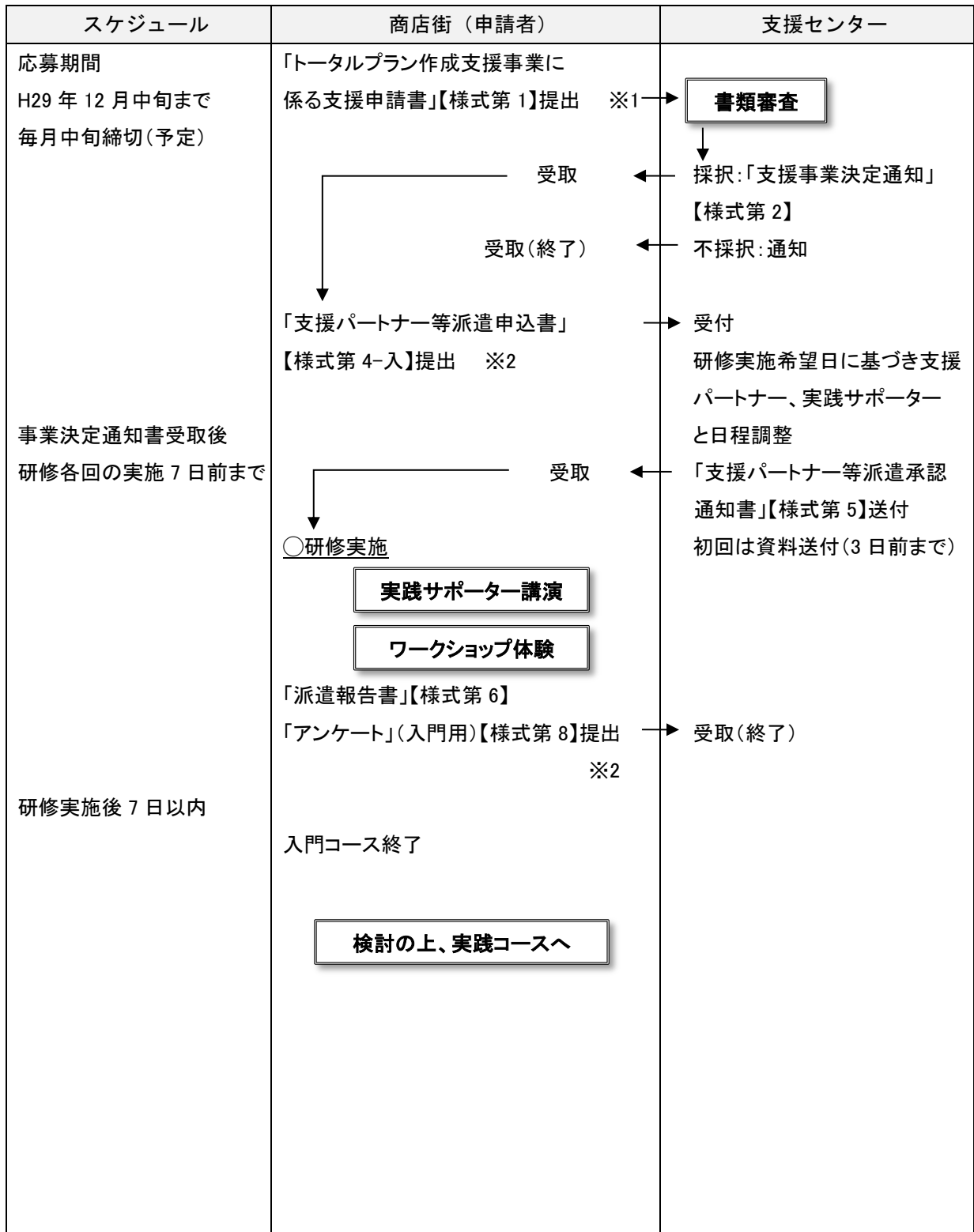
- ・支援パートナー及び実践サポーターへの謝金及び旅費交通費の支払いは支援センターが規程に基づいて直接行いますので、これに関する商店街の費用負担はありません。
- ・各回の派遣報告書は、支援パートナー等への謝金等の支払いの必要書類となりますので、ご提出が遅れることの無いようご注意ください。

(6) その他

- ・所定の提出物や報告の著しい遅延、参加状況が悪いなど、進捗や成果が認められないと支援センターが判断した場合は、派遣を中止する場合があります。
- ・当日の研修風景の写真等を支援センターのパンフレットやwebサイト等に使用させていただく場合があります。事前に参加者の皆様にご了解を得るなど、ご協力をお願いいたします。
- ・事業実施後、支援センターの調査および取材にご協力いただく場合があります。

■申請から事業完了までの流れ（基本パターン）

《入門コース》



※1: 申請書類の提出は郵送にてお願いいたします。期限は全て必着です。

※2: メール（使用できない場合はFAXまたは郵送）にてご送付ください。

《実践コース》(A)「ビジョンづくり + プランづくり」

| スケジュール | 商店街（申請者） | 支援センター |
|--|---|--|
| <p>応募期間 H29年12月中旬まで 毎月中旬締切(予定)</p> | <p>「トータルプラン作成支援事業に係る 支援申請書」【様式第1】提出 ※1</p> | <p>書類審査</p> <p>採択:「支援事業決定通知」 【様式第2】</p> <p>不採択:通知</p> |
| <p>研修各回の実施7日前まで</p> | <p>受取</p> <p>支援パートナーと日程調整 「支援パートナー等派遣申込書」 【様式第4-実A】提出 ※2</p> <p>受取(終了)</p> | <p>受付</p> <p>「支援パートナー等派遣承認 通知書」【様式第5】送付 初回は資料送付(3日前まで)</p> |
| <p>研修実施後7日以内</p> | <p>○各回研修実施</p> <p>「派遣報告書」【様式第6】</p> <p>「アンケート」(各回用)【様式第7】提出 ※2</p> <p>ビジョンづくり</p> <p>↓</p> <p>プランづくり</p> <p>最終回のみ、 「アンケート」(最終回用)【様式第7-2】提出 ※2</p> <p>実践コース(A) 「ビジョンづくり + プランづくり」 終了</p> | <p>受取</p> <p>受取(終了)</p> |

※1: 申請書類の提出は郵送にてお願いいたします。期限は全て必着です。

※2: メール(使用できない場合はFAXまたは郵送)にてご送付ください。

《実践コース》(B)「プランづくり」

| スケジュール | 商店街（申請者） | 支援センター |
|-----------------------------------|---|---|
| 応募期間 H29年12月中旬まで 毎月中旬締切(予定) | 「トータルプラン作成支援事業に係る支援申請書」【様式第1】 「ビジョンチャート」提出 ※1 | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">書類審査</div> ↓ 採択:「支援事業決定通知」【様式第2】 ← 受取 不採択:通知 ← 受取(終了) |
| 事業決定通知書受取後 研修各回の実施7日前まで | 支援パートナーと日程調整 「支援パートナー等派遣申込書」【様式第4-実B】提出 ※2 | 受付 ↓ 「支援パートナー等派遣承認通知書」【様式第5】送付 初回は資料送付(3日前まで) ← 受取 |
| 研修実施後7日以内 | ○各回研修実施 「派遣報告書」【様式第6】 「アンケート」(各回用)【様式第7】提出 ※2 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin: 10px auto;">プランづくり</div> | 受取 ← 受取 |
| | 最終回のみ、 「アンケート」(最終回用)【様式第7-2】提出 ※2 | 受取 |
| | 実践コース(B)「プランづくり」終了 | |

※1: 申請書類の提出は郵送にてお願いいたします。期限は全て必着です。

※2: メール(使用できない場合はFAXまたは郵送)にてご送付ください。

支援パートナー・実践サポーター等派遣申込みの際の注意事項

1. 申込資格

本制度の申込みは、商店街振興組合又は商店街振興組合連合会、商店街の事業協同組合又は事業協同組合連合会（法人格を持たない商店街組織でも可）等（以下「商店街等」という。）の代表者名にて行ってください。

*複数の商店街からの申込みを受けた際は、広域に渡る・連たんしている等の状況に応じて、支援事業内容・派遣回数を検討することになりますので、支援センター担当者にご相談下さい。

2. 支援決定後、派遣を受けるまでの手続き

派遣を希望される場合は、事業決定通知の到着後、実施日を支援パートナーと調整して派遣日7日前まで（講演実施の場合は講演実施日の2週間前までに）に「支援パートナー派遣（変更）申込書」を支援センターへ提出してください。支援センターで申込書受理後、「支援パートナー派遣（変更）承認通知書」を送付します。

3. 派遣を受けた後の手続き

下記の各書類は、派遣後7日以内に原則として電子メール（送信先：total@syoutengai-shien.com）又はFAX・郵送にて支援センターにご提出ください。

なお、報告書等は、支援センターが支援パートナーに謝金を支払うための証憑書類となりますので、支援センターまで直接提出してください。

(1) 「派遣報告書」

派遣各回の終了の都度（最終回も含む）、支援センターまで提出してください。

(2) 「参加者アンケート」（実践コース各回用・最終回用、入門コース用）

派遣各回の終了の都度（最終回も含む）、支援センターまで提出してください。

4. 支援パートナー・実践サポーター等派遣の利用について

これまでに同一コースまたは同様の事業を受けたことがある商店街等については、そのテーマ・内容及び進捗状況等に応じて派遣の可否・回数を決定します。

5. 個人・企業情報の取扱い

個人情報保護法に定義する個人情報に該当する情報は支援センターで実施する事業で利用します。したがって、当該個人情報の第三者（業務委託先を除きます）への提供及び開示はいたしません。ただし、お客様の同意がある場合、又は法令等に基づき要請された場合には当該個人情報を提供できるものとします。また、企業情報、及びアドバイスにより知りえた機密事項についても同様に取り扱うものとします。

告知事項

1. 支援パートナー・実践サポーター等のアドバイスに関して、貴組合等に損害が生じた場合、支援センターはその責を一切負わないものとする。
2. 支援パートナー・実践サポーター等のアドバイスに関して、故意又は重大な過失があると認められた場合を除いて、支援パートナー・実践者等はその責を一切負わないものとする。
3. 支援パートナー・実践サポーター等による派遣の期間が天災その他やむを得ない事情により延期又は短縮された場合には、支援パートナー・実践サポーター等によるアドバイスはその期間をもって終了したものとする。
4. 支援パートナー・実践サポーター等に対する費用の負担については、支援センターの定める方法により行うこととする。

支援パートナーの派遣を受ける皆さまへ

I. 支援パートナー派遣について

支援パートナー派遣は、(株)全国商店街支援センターの審査に基づき登録された支援パートナーが、組合等に出向き現地研修及びアドバイスをを行うものです。

(株)全国商店街支援センターでは、支援パートナーを登録・派遣するにあたり、支援パートナーに対し、以下の点を遵守することの同意を得ておりますので、ご留意のうえ、当制度をご利用いただきますようお願いいたします。なお、不明な点等がありましたら、支援センターまでお問い合わせいただきますようお願いいたします。

支援パートナー遵守事項

1. 支援パートナーが、派遣業務過程で知りえた秘密について他に漏らすことを禁じています。
支援パートナーは、登録期間終了後も秘密を厳守することとしています。
2. 支援パートナーが、派遣業務に関連して支援センター以外の者から給付を受けることを禁じています。
支援パートナー派遣に伴う謝金・旅費等の費用は、支援センターが負担します。
従って、派遣に伴う費用の請求を支援パートナーから受けることは一切ありません。
3. 支援パートナーに対し、支援センターが依頼した業務と関連した業務に従事したり、新聞や雑誌の寄稿や出版、講演などを行ったりする場合は、事前に支援センターに届出・承認を得ることとなっています。

II. 補助金に係る相談について

補助金の運用・採択に係る詳細事項については、年度により変更することがあり、また、補助金申請の基準を満たしている場合であっても、国等の予算の関係から採択されないケースもあります。

このため、補助金の採択に係る詳細事項については支援パートナーからのアドバイスは行っておりません。つきましては、経済産業局等担当窓口にご相談ください。

III. 派遣報告書の提出

原則として、派遣終了後7日以内に電子メール（又はFAX・郵送）にて派遣報告書をご提出くださいますようお願い申し上げます。

<報告書提出先> E-mail: total@syoutengai-shien.com

(株)全国商店街支援センター トータルプラン作成支援事業担当 宛

〒104-0043 東京都中央区湊 1-6-11 ACN八丁堀ビル 4階

TEL:03-6228-3061 FAX:03-6228-3062

(様式第2)【支援センター→商店街】

受付番号

平成 年 月 日

様

(株)全国商店街支援センター
代表取締役社長

トータルプラン作成支援事業 支援事業決定通知

貴商店街から申請のありました事業については、以下のとおり決定しましたので通知します。

1. 支援コースおよび派遣回数

| | | |
|--|-----------|----------------------|
| | 入門コース: | 1回 |
| | 実践コース(A): | ビジョンづくり 3回、プランづくり 3回 |
| | 実践コース(B): | ビジョン共有 1回、プランづくり 3回 |

2. 派遣する支援パートナー

| | |
|---------|------------|
| 支援パートナー | ふりがな 氏名 |
| 連絡先 | 電話 |
| | E-mail |

3. 派遣する実践サポーター

| | |
|---------|------------|
| 実践サポーター | ふりがな 氏名 |
|---------|------------|

3. 留意事項

- (1)本決定通知の内容に不服等がある場合や、辞退される場合は、速やかに申し出てください。
- (2)本決定の権利を他の商店街等に譲渡することはできません。
- (3)入門コースの場合、支援パートナー、実践サポーターとの派遣日調整は、支援センターが行います。
- (4)実践コースの場合、支援パートナーとの派遣日程調整は基本的に商店街が実施してください。
- (5)商店街名、商店街の代表者、事務所の住所・連絡先等の変更がある場合は、様式第3の変更届けを提出してください。
- (6)派遣回数・支援パートナーの変更を希望する場合には、事前に支援センターと協議した上で、様式第3を提出してください。

(様式第3)【商店街→支援センター】

受付番号

平成 年 月 日

株全国商店街支援センター
代表取締役社長 殿

名 称 :
代表者名 : 印
役 職 名 :
所 在 地 : 〒

トータルプラン作成支援事業に係る支援申請内容変更届兼申請書

平成 年 月 日付で事業決定通知のあったトータルプラン作成支援事業について、支援申請内容の変更届け出及び変更申請をいたします。

記

1. 理 由

2. 変 更 内 容

| | (新) | (旧) |
|---------|--------------|--------------|
| 【例】電話番号 | 00-1111-2222 | 00-8888-9999 |
| | | |
| | | |
| | | |

3. 添付書類

法人化による組合名変更、代表者変更など、申請者が変更になる場合は、その証明となる書類を提出してください。

※派遣回数・支援パートナーの変更を希望する場合には、事前に支援センターと協議した上で、提出してください。

| | | | |
|---------------|--|--|--|
| 検 印 (センター使用欄) | | | |
| | | | |

(様式第 4-入)【商店街→支援センター】

受付番号

平成 年 月 日

(株)全国商店街支援センター

トータルプラン作成支援事業 担当 宛

名 称:

代表者名:

役職名:

支援パートナー等派遣 (変更) 申込書

【入門コース】

先に事業決定通知のあった、トータルプラン作成支援事業について、支援パートナー等の派遣をお願いします。なお、『支援パートナー・実践者等派遣申込みの際の注意事項』および『支援パートナーの派遣を受ける皆さまへ』について同意することを申し添えます。

1. 派遣日時

| | | | | | | | |
|---|---|-----|---|---|---|---|---|
| 月 | 日 | () | (| : | ~ | : |) |
|---|---|-----|---|---|---|---|---|

| | | |
|----------|----------|--|
| 支援パートナー名 | | |
| 講 演 | 実践サポーター名 | |
| | 講演テーマ | |

※原則、派遣日の7日前(講演実施の場合は実施の2週間前)までに申し込みください。

2. 資料送付先と必要部数

| | |
|-----------|---------------|
| 送付先: | 必要部数 (予備含) |
| 送付先住所: 〒 | |
| TEL: 担当者: | |

3. 研修会場(研修会場が商店街事務所と異なる場合にご記入ください。)

| |
|-----------|
| 名称: |
| 所在地: 〒 |
| TEL: 担当者: |

| 検 印 (センター使用欄) | | | |
|---------------|--|--|--|
| | | | |

(様式第 4 ー実 A) 【商店街→支援センター】

受付番号

平成 年 月 日

㈱全国商店街支援センター
トータルプラン作成支援事業 担当 宛

名 称:
代表者名:
役職名:

支援パートナー等派遣 (変更) 申込書
【実践コース(A)】

先に事業決定通知のあった、トータルプラン作成支援事業について、支援パートナー等の派遣をお願いします。なお、『支援パートナー・実践者等派遣申込みの際の注意事項』および『支援パートナーの派遣を受ける皆さまへ』について同意することを申し添えます。

1. 派遣日時

| 回数 | 日時 | 研修内容 「商店街の手引き」P.7 参照 | 当該申請 にチェック |
|------|-------------------|-------------------------|---------------|
| 1 回目 | 月 日 () (: ~ :) | | |
| 2 回目 | 月 日 () (: ~ :) | | |
| 3 回目 | 月 日 () (: ~ :) | | |
| 4 回目 | 月 日 () (: ~ :) | | |
| 5 回目 | 月 日 () (: ~ :) | | |
| 6 回目 | 月 日 () (: ~ :) | | |

| | | |
|----------|----------|--|
| 支援パートナー名 | | |
| 講演 | 実践サポーター名 | |
| | 講演テーマ | |

※原則、派遣日の7日前(講演実施の場合は実施の2週間前)までに申し込みください。

※実施日の変更申込の際は、変更後の実施日時だけでなく、1回目からすべて記載してください。

2. 資料送付先と必要部数(1回目研修時または講演実施時)

| | | |
|----------|------|---------------|
| 送付先: | | 必要部数 (予備含) |
| 送付先住所: 〒 | | |
| TEL: | 担当者: | 部 |

3. 研修会場(研修会場が商店街事務所と異なる場合にご記入ください。)

| | | |
|--------|------|--|
| 名称: | | |
| 所在地: 〒 | | |
| TEL: | 担当者: | |

※講演会場が異なる場合にご記入ください

| | | |
|--------|------|--|
| 名称: | | |
| 所在地: 〒 | | |
| TEL: | 担当者: | |

| 検 印 (センター使用欄) | | | |
|---------------|--|--|--|
| | | | |

(様式第 4—実 B) 【商店街→支援センター】

受付番号

平成 年 月 日

(株)全国商店街支援センター

トータルプラン作成支援事業 担当 宛

名 称:

代表者名:

役職名:

支援パートナー等派遣 (変更) 申込書 【実践コース(B)】

先に事業決定通知のあった、トータルプラン作成支援事業について、支援パートナー等の派遣をお願いします。なお、『支援パートナー・実践者等派遣申込みの際の注意事項』および『支援パートナーの派遣を受ける皆さまへ』について同意することを申し添えます。

1. 派遣日時

| 回数 | 日時 | 研修内容 「商店街の手引き」P.8 参照 | 当該申請 にチェック |
|------|-------------------|-------------------------|---------------|
| 1 回目 | 月 日 () (: ~ :) | | |
| 2 回目 | 月 日 () (: ~ :) | | |
| 3 回目 | 月 日 () (: ~ :) | | |
| 4 回目 | 月 日 () (: ~ :) | | |

| | |
|----------|--|
| 支援パートナー名 | |
|----------|--|

※原則、派遣日の7日前(講演実施の場合は実施の2週間前)までに申し込みください。

※実施日の変更申込の際は、変更後の実施日時だけでなく、1回目からすべて記載してください。

2. 資料送付先と必要部数(1回目研修時)

| | | |
|----------|------|---------------|
| 送付先: | | 必要部数 (予備含) |
| 送付先住所: 〒 | | |
| TEL: | 担当者: | 部 |

3. 研修会場(研修会場が商店街事務所と異なる場合にご記入ください。)

| | | |
|--------|------|--|
| 名称: | | |
| 所在地: 〒 | | |
| TEL: | 担当者: | |

(様式第5)【支援センター→商店街】

受付番号

平成 年 月 日

様

(株)全国商店街支援センター
トータルプラン作成支援事業 担当

トータルプラン作成支援事業
支援パートナー等派遣(変更)承認通知書

貴商店街から(変更)申込みのありました標記業務については、下記のとおり承認いたしましたので通知します。

1. コース名 : 入門コース ・ 実践コース(A) ・ 実践コース(B)

2. 支援パートナー等

| | |
|----------|--|
| 支援パートナー名 | |
| 実践サポーター名 | |

3. 派遣日時

| 回数 | 日時 | 研修種別 | 当該申請 にチェック |
|-----|-------------------|------|---------------|
| 1回目 | 月 日 () (: ~ :) | | |
| 2回目 | 月 日 () (: ~ :) | | |
| 3回目 | 月 日 () (: ~ :) | | |
| 4回目 | 月 日 () (: ~ :) | | |
| 5回目 | 月 日 () (: ~ :) | | |
| 6回目 | 月 日 () (: ~ :) | | |

※ 実施日を変更する場合には、変更申込を行ってください。

4. 研修会場

| | |
|-----|--|
| 場 所 | <input type="checkbox"/> 商店街事務所 |
| | <input type="checkbox"/> その他 名称 : 所在地 : 〒 TEL : |

(様式第6)【商店街→支援センター】

受付番号

平成 年 月 日

(株)全国商店街支援センター

トータルプラン作成支援事業 担当 宛

名称:

担当者:

トータルプラン作成支援事業 派遣報告書

以下のとおり派遣を受けましたので、報告いたします。

| コース名 | 入門コース・実践コース(A)・実践コース(B) | 回数 | 回目 |
|--|-------------------------|----|----|
| 実施日時 | 平成 年 月 日() : ~ : | | |
| 支援パートナー名 | 実践サポーター名 | | |
| | 講演テーマ | | |
| 今回のゴール (目指すべき状態) ※「商店街の手引き」 P6~8 参照 | | | |
| 実施内容 | | | |
| 達成状況 とその理由 | | | |
| 次回への課題 | | | |
| 質問・相談事項等 | | | |

参加者名簿

| | 氏名 | ご所属 | 役職 |
|----|----|-----|----|
| 1 | | | |
| 2 | | | |
| 3 | | | |
| 4 | | | |
| 5 | | | |
| 6 | | | |
| 7 | | | |
| 8 | | | |
| 9 | | | |
| 10 | | | |
| 11 | | | |
| 12 | | | |
| 13 | | | |
| 14 | | | |
| 15 | | | |
| 16 | | | |
| 17 | | | |
| 18 | | | |
| 19 | | | |
| 20 | | | |
| 21 | | | |
| 22 | | | |
| 23 | | | |
| 24 | | | |
| 25 | | | |
| 26 | | | |
| 27 | | | |
| 28 | | | |
| 29 | | | |
| 30 | | | |

※参加者名簿は、必要に応じて複写してお使いください。

(様式第7-2)【商店街→支援センター】

実践コース最終回用

最終回、参加者全員ご記入ください

参加者アンケート【トータルプラン作成支援事業】

このアンケートは、当支援センターが今後の事業をより良いものにするために活用させて頂く貴重な資料となります。ご回答を個別に発表することはありませんので、率直なご意見をお聞かせください。

問1. あなたはこの研修をどのようにして知りましたか？（複数可）

- | | |
|--------------------|--------------------|
| ① 支援センターメールマガジン | ② 支援センターパンフレット |
| ③ 支援センターホームページ | ④ 支援センター研修受講者からの紹介 |
| ⑤ 行政機関 | ⑥ 支援機関（商工会議所、商工会等） |
| ⑦ 商店街 | ⑧ 支援センター講師等 |
| ⑨ その他（具体的に： _____） | |

問2. あなたがこの研修に参加した経緯は何ですか？

- | | |
|--------------------|------------------|
| ① 自分から希望して | ② 受講経験者に勧められて |
| ③ 商店街から勧められて | ④ 行政・支援機関から勧められて |
| ⑤ その他（具体的に： _____） | |

問3. あなたがこの研修に参加した理由は何ですか？（複数可）

- | | |
|--------------------|--------------------|
| ① テーマ及び目的に魅力を感じたから | ② 講師に魅力を感じたから |
| ③ 研修方法に魅力を感じたから | ④ 費用が無料（または安価）だから |
| ⑤ 商店街研修の一環として | ⑥ 他の組合員等と交流を図りたいから |
| ⑦ その他（具体的に： _____） | |

問4-1. この研修の理解度はどの程度でしたか？

- | | |
|---------------|-------------|
| ① よく理解できた | ② ある程度理解できた |
| ③ あまり理解できなかった | ④ 理解できなかった |

問4-2. (①、②と回答した方) 理解できた理由は？（複数可）

- | | |
|--------------------|-------------------|
| ① 時間が適切だった | ② 内容の程度が適切だった |
| ③ 講師の教え方が良かった | ④ 全体の研修プログラムが良かった |
| ⑤ その他（具体的に： _____） | |

問4-3. (③、④と回答した方) 理解できなかった理由は？（複数可）

- | | |
|--------------------|---------------------|
| ① 時間が足りなかった | ② 内容の程度が高すぎた |
| ③ 講師の教え方が悪かった | ④ 全体の研修プログラムが良くなかった |
| ⑤ その他（具体的に： _____） | |

2枚目もご記入ください

| | |
|-----------------------------------|----------------------|
| 問5-1. この研修はあなた（商店街・お店）に役立つと思いますか？ | |
| ① 非常に役立つ | ② ある程度役立つ |
| ③ あまり役立たない | ④ 全く役立たない |
| 問5-2. (①、②と回答した方) 役立つ理由は？（複数可） | |
| ① 商店街の実情に合った内容 | ② 研修に参加して大いに啓発された |
| ③ 研修に参加して自信を得た | ④ 新しい情報等を得られた |
| ⑤ その他（具体的に： _____） | |
| 問5-3. (③、④と回答した方) 役立たない理由は？（複数可） | |
| ① 商店街の実情に合わない内容だった | ② 講義内容が既に熟知している内容だった |
| ③ 要項と実際の内容が一致していなかった | ④ 新しい情報等が得られなかった |
| ⑤ その他（具体的に： _____） | |

| | |
|---|--------------|
| 問6. この事業で検討した商店街の現状やビジョンについて、 商店街内（参加者間）で共有していますか？ | |
| ① 共有している | ② ある程度共有している |
| ③ あまり共有していない | ④ 全く共有していない |

| | |
|--|-----------|
| 問7. この事業を通して、組合員・会員同士の意思疎通が 以前より図りやすくなったと感じますか？ | |
| ① 大いに感じる | ② ある程度感じる |
| ③ あまり感じない | ④ 全く感じない |

| |
|-----------------------------------|
| 問8. この事業についてのご意見・ご要望を具体的にお聞かせください |
| |

| |
|---|
| 問9. 今後、支援センターで実施して欲しい事業は何ですか？具体的にお聞かせください |
| |

| | |
|-------------------------------------|---|
| 問10. あなたご自身のことについて、お差支えない範囲でご記入ください | |
| (1)職業 | ① 個店経営者・役員 ② 個店従業員 ③ 商店街関係者 ④ 行政関係者 ⑤ 商店街支援機関（商店街振興組合連合会、商工会議所、商工会等） ⑥ その他（具体的に： _____） |
| (2)店舗 | ① 小売業 ② 飲食業 ③ サービス業 ④ 非該当（店舗関係者以外） |
| (3)年齢 | ① 10歳代 ② 20歳代 ③ 30歳代 ④ 40歳代 ⑤ 50歳代 ⑥ 60歳代 ⑦ 70歳代以上 |
| (4)性別 | ① 男性 ② 女性 (5)商店街との関係 ① 役員 ② 会員 ③ その他(_____) |

ご回答ありがとうございました

(様式第8)【商店街→支援センター】

入門コース用

参加者全員ご記入ください

参加者アンケート【トータルプラン作成支援事業】

このアンケートは、当支援センターが今後の事業をより良いものにするために活用させて頂く貴重な資料となります。ご回答を個別に発表することはありませんので、率直なご意見をお聞かせください。

問1. あなたはこの研修をどのようにして知りましたか？（複数可）

- | | |
|--------------------|--------------------|
| ① 支援センターメールマガジン | ② 支援センターパンフレット |
| ③ 支援センターホームページ | ④ 支援センター研修受講者からの紹介 |
| ⑤ 行政機関 | ⑥ 支援機関（商工会議所、商工会等） |
| ⑦ 商店街 | ⑧ 支援センター講師等 |
| ⑨ その他（具体的に： _____） | |

問2. あなたがこの研修に参加した動機は何ですか？

- | | |
|--------------------|------------------|
| ① 自分から希望して | ② 受講経験者に勧められて |
| ③ 商店街から勧められて | ④ 行政・支援機関から勧められて |
| ⑤ その他（具体的に： _____） | |

問3. あなたがこの研修に参加した理由は何ですか？（複数可）

- | | |
|--------------------|--------------------|
| ① テーマ及び目的に魅力を感じたから | ② 講師に魅力を感じたから |
| ③ 研修方法に魅力を感じたから | ④ 費用が無料（または安価）だから |
| ⑤ 商店街研修の一環として | ⑥ 他の組合員等と交流を図りたいから |
| ⑦ その他（具体的に： _____） | |

問4-1. この研修の理解度はどの程度でしたか？

- | | |
|---------------|-------------|
| ① よく理解できた | ② ある程度理解できた |
| ③ あまり理解できなかった | ④ 理解できなかった |

問4-2. (①、②と回答した方) 理解できた理由は？（複数可）

- | | |
|--------------------|-------------------|
| ① 時間が適切だった | ② 内容の程度が適切だった |
| ③ 講師の教え方が良かった | ④ 全体の研修プログラムが良かった |
| ⑤ その他（具体的に： _____） | |

問4-3. (③、④と回答した方) 理解できなかった理由は？（複数可）

- | | |
|--------------------|---------------------|
| ① 時間が足りなかった | ② 内容の程度が高すぎた |
| ③ 講師の教え方が悪かった | ④ 全体の研修プログラムが良くなかった |
| ⑤ その他（具体的に： _____） | |

2枚目もご記入ください

| | |
|-----------------------------------|----------------------|
| 問5-1. この研修はあなた（商店街・お店）に役立つと思いますか？ | |
| ① 非常に役立つ | ② ある程度役立つ |
| ③ あまり役立たない | ④ 全く役立たない |
| 問5-2. (①、②と回答した方) 役立つ理由は？（複数可） | |
| ① 商店街の実情に合った内容 | ② 研修に参加して大いに啓発された |
| ③ 研修に参加して自信を得た | ④ 新しい情報等を得られた |
| ⑤ その他（具体的に： _____) | |
| 問5-3. (③、④と回答した方) 役立たない理由は？（複数可） | |
| ① 商店街の実情に合わない内容だった | ② 講義内容が既に熟知している内容だった |
| ③ 要項と実際の内容が一致していなかった | ④ 新しい情報等が得られなかった |
| ⑤ その他（具体的に： _____) | |

| |
|-----------------------------------|
| 問6. この事業についてのご意見・ご要望を具体的にお聞かせください |
| |

| |
|---|
| 問7. 今後、支援センターで実施して欲しい事業は何ですか？ 具体的にお聞かせください |
| |

| | |
|------------------------------------|--|
| 問8. あなたご自身のことについて、お差支えない範囲でご記入ください | |
| (1)職業 | ① 個店経営者・役員 ② 個店従業員 ③ 商店街関係者 ④ 行政関係者 ⑤ 商店街支援機関(商店街振興組合連合会、商工会議所、商工会等) ⑥ その他(具体的に： _____) |
| (2)店舗 | ① 小売業 ② 飲食業 ③ サービス業 ④ 非該当(店舗関係者以外) |
| (3)年齢 | ① 10歳代 ② 20歳代 ③ 30歳代 ④ 40歳代 ⑤ 50歳代 ⑥ 60歳代 ⑦ 70歳代以上 |
| (4)性別 | ① 男性 ② 女性 (5)商店街との関係 ① 役員 ② 会員 ③ その他(_____) |

ご回答ありがとうございました